

研究情報公開資料(オプトアウト用)

この公開情報をご覧になって、

- 1.ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
- 2.研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
- 3.ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR22023
1 研究課題名	当院におけるデュプイトラン拘縮に対する治療成績の後方視的研究
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 手の外科 医師 松下 俊介 研究分担者 手の外科 医師 牛尾 茂子 研究分担者 手の外科 医師 岩城 啓修 研究分担者 手の外科 医師 平瀬 雄一
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始:院長許可後 ~ 終了:2023年6月30日 情報等調査期間 開始:2010年1月1日 ~ 終了:2022年9月30日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	デュプイトラン拘縮という病気は皮下に病的コードができることにより指を伸ばすことができなくなる病気です。一般的には皮下コードを全切除するという手術範囲が大きな手術を行っています。当院では皮下コードを切除はせずに切離して、局所皮弁を作成することでコードとコードの間に正常組織を挟み込むようにする手術を行っています。また、以前はコラーゲン分解酵素注入による治療も行っていましたが注射治療後の再発も見られるようになってきております。当院での治療は手術侵襲を減少させる試みであり、当院での手術方法が有用であることが確認されれば手術方法のスタンダードが変わる可能性があります。また、コラーゲン分解酵素注入後の再発例に対する治療に関して当院は多く経験しているため治療成績をまとめて発表することは全国的に有用と考えられます。 2010年1月から2022年9月までの間に当院手の外科・マイクロサージャリーセンターでデュプイトラン拘縮に対する加療を受けた方の診療録から個人を特定しうる情報を除き、罹患部位、罹患期間、治療方法、再発の有無、術前術後の理学的評価、既往症の有無等の情報のみを抽出したのちに統計学的に評価します。
5 研究の対象 となる方	2010年1月～2022年9月の間に、当院手の外科・マイクロサージャリーセンターにおいてデュプイトラン拘縮に対する治療を受けた方
6 <u>試料・情報等の 利用目的、利用方法</u>	罹患部位、罹患期間、治療方法、再発の有無、術前術後の理学的評価、既往症の有無、術前術中術後の画像情報について比較検討・統計学的処理を行い、治療成績を評価するために用います。罹患リスクを過去のデータと比較するために既往症の記録や血液検査データを用います。
7 <u>研究に用いる試料・ 情報の種類(項目)</u>	診療録記載情報、罹患部位、罹患期間、治療方法、再発の有無、術前術後の理学的評価、既往症の有無、術前術中術後の画像情報、血液検査データを用います。 診療録および上記各種検査結果から情報のみを抽出して研究番号を新たに付して処理しますので、カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号等の個人を特定しうる情報については一切使用いたしません
8 <u>試料・情報を利用 する者の範囲</u>	上記2と同じ範囲の者

9	<u>試料・情報の 管理責任者</u>	上記 2 に示した研究責任者
10	計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります
11	その他の開示 すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12	お問い合わせ先	<p>試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人(あるいは代理人)が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 連絡先所属:医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 手の外科・マイクロサージャリーセンター</p> <p>氏 名 : 医師 松下 俊介 住 所 : 〒102-0084 東京都千代田区二番町 7-7 電 話 : 03-3261-0401 F A X : 03-3261-0402</p>

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして 6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。